

# 特定施設等設置等届

実際に届出を提出する年月日を記載

年 月 日

尼崎市 市長 様

届出者 住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)

〇〇市〇〇町1-2-3

【法人の場合】主たる事務所の所在地、名称及び代表者名を記載。工場長等が届出者となる場合は、法人の代表者から権限を委任されていることを示す委任状を添付  
【個人の場合】事業者の氏名、住所を記載

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

〇〇〇株式会社 代表取締役 □□□□

電話 (〇〇〇) △△△-□□□□

電子メール 〇〇〇

実際に書類の内容についてやり取りできる担当者の氏名、電子メール

担当者氏名

〇〇課 〇〇 〇〇

兵庫県環境の保全と創造に関する条例第43条の規定により、次のとおり届け出ます。

工場等の名称 〇〇株式会社△△工場	資本の額又は出資の総額 会社の資本の金額等を記載
工場等の所在地 尼崎市△△町□□□	特定施設等を設置しようとする工場等の名称、住所を記載
業種 〇〇業 日本標準産業分類の中分類から該当するものを記入	主な製品又は加工の種類 べんがら製造
作業の種類及び方法 別添作業工程図のとおり	常時使用する従業員の数 〇人 工場等で常時使用する従業員数を記入(構内協力会社、派遣社員含む)
特定施設等の種類、構造、配置並びに使用及び管理の方法 別紙のとおり	
ばい煙等の処理の方法 別紙のとおり	工事の着手年月日 別紙のとおり
工事の完成年月日 別紙のとおり	特定施設等の使用開始年月日 別紙のとおり
備考	

3 汚水に係るもの

(1) 汚水排出施設の構造等

工場等における施設番号	No. 1	
施設の種類	101 廃ガス洗浄施設	環境の保全と創造に関する条例規則 別表 5 の番号及び名称を記載
名称・型式	〇〇社製△△型	メーカー名、機種名を記載
構造	材質塩ビ：FRP 床面：コンクリート+樹脂コーティング 構造図：別図〇のとおり	施設の主要部分の材質を記載
主要寸法	L W H 2.0m×1.0m×7.45m×1 基	施設全体の外形寸法又は主要部分の寸法を記載
能力	100N m <sup>3</sup> /分・基	施設の公称最大能力を記載
施設・関連主要機械・装置の配置	別添図面のとおり	当該設備が設置されている建物の名称や位置等を記載 設備位置が判る図面を添付
工事の着手年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	
工事の完成年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	
特定施設等の使用開始年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	
その他		

(2) 汚水排出施設の使用法

工場等における施設番号		No. 1	
施設の設置場所		別図○のとおり	
施設の操業系統		別図○のとおり	別図は当該施設を含む操業系統図とする。
施設の使用時間間隔・1日当たりの使用時間		8:00~18:00 10時間	1日の使用時間帯、1日当たりの使用時間を記載
使用の季節内変動の概要		特になし	
原材料の種類・使用方法・1日当たりの使用量		洗浄液：上水○m <sup>3</sup> ガス発生源使用原材料：△△	施設を含む作業工程において使用する原材料の種類、使用方法及び1日当たりの使用量を記載 製品名を記載する場合は、SDS（安全データシート）を添付
特定施設等から排出される汚水の汚染状態	pH	通常 6~8    最大 2~10	施設から排出される汚水の水質について記載 項目は、排水基準が定められている項目のうち原材料等より排出されるおそれがあるものを記載 汚水の汚染状態は、汚水の処理前の水質について、操業状態等を考慮し通常と最大の計画値を記載 瀬戸内海地域の通常 50 m <sup>3</sup> /日以上 of 工場は、T・N(窒素)・T・P(りん)を必ず記載 「変更届」の場合においては、変更のある箇所を二段書きにし、変更前は上段に赤字で記載し、下段に変更後を記載
	BOD (mg/l)	通常 80    最大 100	
	COD (mg/l)	通常 150    最大 200	
	SS (mg/l)	通常 100    最大 300	
	F (mg/l)	通常 50    最大 20	
		通常    最大	
特定施設等から排出される汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)		通常 10    最大 15	
その他			

変更のある場合は、変更のある箇所のみ二段書きとし、上段は赤字で「設置(変更)前」、下段には「設置(変更)後」の状況を記載

上段：変更前

下段：変更後

(3) 汚水の処理の方法

汚水処理施設の名称	洗浄排水処理施設		
汚水処理施設の設置場所	別図〇のとおり		
汚水処理施設の工事の着手年月日	年	月	日
汚水処理施設の工事の完成年月日	年	月	日
汚水処理施設の使用開始年月日	年	月	日
汚水処理施設の種類	〇〇社製 △△型	処理施設の型式、メーカー名を記載	
汚水処理施設の形式	材質：鋼+塩化ビニルライニング 構造図：別図6のとおり	処理施設の材質を記載し、構造図を添付	
汚水処理施設の主要寸法	〇m×〇m×〇m	処理施設の寸法を記載	
汚水処理施設の能力	〇m <sup>3</sup> /日	処理施設の1日又は1時間で処理できる水量を記載	
汚水の処理方法	中和・凝集沈殿・ろ過	処理の具体的な方法を記載	
汚水の処理系統	別図7のとおり	処理工程に関するフローシートを添付	
汚水の集水・導水方法	別図2のとおり	処理施設までの集水導水方法を記載した図面を添付	
汚水処理施設の使用時間間隔・1日当たりの使用時間	8:00～20:00	処理施設の1日のうちの使用時間帯を記載	
使用の季節的変動の概要	12時間	処理施設の1日当たりの使用時間を記載	
汚水の中和・凝集・酸化の用途別薬剤の1日当たりの使用量	60%硫酸〇kg 硫酸バンド△kg	処理施設で使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量を記載	
処理前・後の汚水の汚染状態	処理前・後の区分	処理前	処理後
	pH	通常 6～8 最大 2～14	通常 6～8 最大 6～8
	BOD (mg/l)	通常 20 最大 30	通常 10 最大 10
	COD (mg/l)	通常 30 最大 60	通常 15 最大 20
	SS (mg/l)	通常 40 最大 60	通常 20 最大 30
	N (mg/l)	通常 5 最大 10	通常 5 最大 10
	P (mg/l)	通常 0.1 最大 0.2	通常 0.05 最大 0.1
処理前・後の汚水の量 (m <sup>3</sup> /日)	通常 15 最大 25	通常 15 最大 25	
処理による残さの種類・月間の種類別生成量・処理方法	脱水汚泥〇t ((産廃として業者に処理を委託するとする。))		
排出方法 (排水口の位置・排水口の数・排出先・最終放流先)	別添図面のとおり	排水経路、排水口の位置を明示した図面を添付 排水先も記載	
その他			

A 4

特定施設からの汚水等の汚染状態(別紙 2)と同一項目を記載  
 処理前と処理後の水質については、合理的な根拠のある数値を記載  
 1.文献値  
 2.テストプラントでの試験値  
 3.同業種、同施設の実績値等

排水口の名称、番号を記載  
雨水排水口を含め全ての排水口を記載

変更のある場合は、変更のある箇所のみ二段書きとし、上段は赤字で「設置(変更)前」、下段には「設置(変更)後」の状況を記載

(4) 排出水の汚染状態及び量

「変更なし」

排水口		項目等	排水量 (m <sup>3</sup> /日)	p H	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	N (mg/l)	P (mg/l)
1	通常		15	6~8	10	15	20	5	0.05
	最大		25	6~8	10	20	30	10	0.1
2	通常		1	6~8	25	20	50	40	4
	最大		2	5.8~ 8.6	30	30	70	60	6
	通常								
	最大								
	通常								
	最大								
	通常								
	最大								
	通常								
	最大								
その他の									

- ・1日の排水量について、「日平均値」を通常欄に、「最も多い日量」を最大欄に記載
- ・排水の水質について通常及び最大の量を排水口ごとに記載
- ・排水基準が定められている項目のうち、排水口から排出されるものや排出されるおそれがあるものを全て記載  
特定施設及び特定施設以外で使用等している物質や副生成する物質に注意
- ・項目が多い場合は別表を作成

(5) 用水及び排水の系統

用水及び排水の系統		別添図面のとおり						
		用水及び排水の収支を記載 この頁のスペース内に収まるならば排水の排出先も 含めた概略フローを記載						
用 途	取水 (m <sup>3</sup> /日)							
	用水 (m <sup>3</sup> /日)	A 上水道	B 工業用 水道	C 地下水	D 河川水	E 海水	F その他	計
別 用 水 使 用 量	原 料 用 水							
	洗 浄 用 水	17						17
	冷 却 用 水							
	生 活 用 水	1						1
	そ の 他							
	計	18						
	用水使用量の季 節的変動の概要							

注 循環使用水については、内数で括弧書きしてください。